

第4学年社会科学学習指導案

日時：令和6年5月21日(火)第5校時 場所：4年教室

授業者：

1. 単元名「住みよいくらしをつくる」ごみのしよりと利用

2. 指導観

(1) 単元について

本小単元は、ゴミ処理の問題を通して、ゴミの受け入れや最終処分場の建設など、県内外の人々との連携が生活環境を支えていることを理解させることをねらいとしている。

ゴミの分別や収集車による回収などは、生活経験を通して知っている。こうした経験をもとに学習を進める中で、環境への配慮した適切な処理が計画的に進められていることを学ぶ。同時に今日的課題にも気づき、終末では「持続可能な社会をめざす」という視点で、自分の行動を考えさせたい。

(2) 児童の実態について

「ごみとはどんなものだと思いますか。」というアンケートに対して、「捨てられた物」「汚い物」「使えなくなった物」という意識を持っている子が多いことが分かった。今回の学習で見学や様々な資料を通して、リサイクルの意義に気付かせていきたい。

3. 研究内容に関わって

【研究内容Ⅱ(1)】

社会の時間には資料から分かることを読み取ることを続けているが、個人差が大きい。そこで、本時では絵資料だけでなく、実物の資料も用意して、それを見ることで自分の考えをもてるような支援をしていきたい。また、実物を見ながら仲間との自然な交流も生まれると考える。そこから、自分の考えをもつことにもつなげていきたい。

4. 単元指導計画 (裏面)

5. 本時のねらい

ガラス瓶やペットボトル、空き缶などは、回収されると再び資源となることや、そのことがエネルギーやCO2削減にもつながることを理解することを通して、分別回収をする意義を考えることができる。

6. 本時の展開 (7/10)

	学習活動	指導上の手立て・留意点・支援等
導入	<p>1 問題把握 課題化 ○分別回収の表や、アンケートの結果から課題を作る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>いろいろ面倒なことが多いのに、細かく分別して回収するのはなぜだろう。</p> </div> <p>2 予想をもつ ・混ぜると、都合が悪いから。 ・もう一回使うから。 ・何か、作るから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大野町の「ごみの出し方の案内」を提示し、分別回収にもいろいろなルールがあることを確認する。 ・保護者に協力を得て、分別回収への意識調査を行ったものを提示する。 ・今までに知っていることを短時間で交流した後、予想をもたせる。
展開	<p>3、個人追究 ○絵資料を読み取ったり、実物資料を見たりしながら、分かったことをノートに書く。 ・ガラス瓶は、もう一回ガラス瓶になる。 ・アルミ缶も、もう一回アルミ缶になる。 ・ペットボトルは、ペットボトルになるだけでなくいろんなものに作り替えられる。 ・「プラ」をリサイクルした物は身近にいろいろある。</p> <p>4、グループ交流を行う。</p> <p>5、全体交流をする。 ・アルミ缶や、スチール缶はもう一度アルミや鉄の製品になる。 ・ピンは、カレットというものにされた後、新しいピンになる。 ・ペットボトルはフレークにされた後、服や新しいペットボトルになる。 ・ゴミだと思っていたけど、新しい物の原料になっている。 ・エネルギーや二酸化炭素も減らせる。資源も節約できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・絵資料を、タブレットを活用して配付する。 ・資料を読み取るときに、周りの子と話しながら読み取ってよいことを知らせる。 ・実物資料も用意し、その場所へ行ってどんなものが作られているかを見たり、その場で交流したりしながら、考えをもつ。 ・短時間で交流させ、全体交流の時間を確保する。 ・このような循環を「リサイクル」ということを知らせる。 ・板書の中で、キーワードとなる言葉を位置付けていく。 ・「アルミ缶リサイクル協会」のホームページを活用し、リサイクルの効果を知らせる。
終末	<p>5 キーワードを入れて、まとめを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>分別回収をするのは、集めた物を材料として活かし新しい物を作るためである。このことをリサイクルという。こうすることで、資源やエネルギーの節約にもなる。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準(思考力・判断力・表現力等) 「リサイクル」「資源やエネルギーの節約になる」というキーワードを位置付けて自分の考えを書くことができる。</p> </div>

単元指導計画 第4学年「ごみのしよりと利用」全10時間

時数	1	2	3	4	5、6
ねらい	1 週間のゴミ調べをもとに、たくさんのごみが出ることを知り、単元を貫く課題を作ることができる。	生活経験や、資料をもとにして、ごみは決められた日に分別して回収されていることを確かめることができる。	可燃ごみは、収集され、西濃環境保全センターへ運ばれ焼却処理されることを理解することができる。	西濃環境保全センターを見学するために、見学のルールを確認するとともに、見学の課題をもつことができる。	西濃環境保全センターを見学し、環境に配慮された施設で多くの可燃ごみが24時間中しよりにされていることを知る。
指導過程	<p>1. 問題把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 「1 週間のゴミ調べ」を学級全体で集計作業を行う。 集計した資料を見て、感想を交流する。 <p>2. 課題化</p> <ul style="list-style-type: none"> これから学習したいことを出し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>単元を貫く課題</p> <p>収集されたごみは、どこでどのように処理されているのだろうか。</p> </div> <p>3、学習計画を立てる。</p>	<p>1. 問題把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみの出し方で、知っていることを交流し合う。 <p>2. 課題化</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>大野町には、どんなゴミの出し方のルールがあるのだろうか。</p> </div> <p>3. 個人追究</p> <p>「ごみの出し方の案内」を見て、ゴミ出しのルールを読み取る。</p> <p>4. 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみといっても、いろいろな種類ごとに分けられている。 出すものによって、曜日や日にちが決められている。 出すときにも、いろいろなルールがあるようだ。 <p>5. 他の市町のごみの出し方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 池田町のごみの出し方の表を見て、大野町だけでなく、池田町にもゴミの出し方について、きまりがあることを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>家で出たごみは、決められた日に分別して集められている。</p> </div>	<p>1. 問題把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 「西濃環境保全センター」の写真を見せて何をするとどこかを想像させる。 「西濃環境保全センター」は、ゴミを焼却処理する所であることを知らせる。 <p>2. 課題化</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>西濃かんきょう保全センターでは、どのようにごみをしよ理しているのだろうか。</p> </div> <p>3. 個人追究</p> <ul style="list-style-type: none"> タブレットで、西濃環境保全センターの資料を見ながら、ゴミ処理の流れをつかむ。 <p>4. 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 分別された中の可燃ごみだけが運ばれている。 環境にやさしい施設だと書いてある。 処理された後、メタルとスラグという物ができらしい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>家から出た可燃ごみは、西濃環境保全センターに運ばれて、たくさん機械を使って環境のことも考えながら処理されている。</p> </div>	<p>1. 問題把握</p> <p>「西濃環境保全センター」へ見学に行く日時を確認する。</p> <p>2. 課題化</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「西濃環境保全センター」見学の見通しをもとう。</p> </div> <p>3. 見学の約束を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 見学ノートを作りながら、約束を確かめる。 <p>4. 見学の課題を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人で考える。 全体で交流し、課題を整理する。 	<p>1. 問題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「西濃環境保全センター」を見学しよう</p> </div> <p>町バスを利用して、見学にでかける。</p> <p>見学しながらメモを取る。</p>
評価規準	【思・判・表】 「1 週間のごみ調べ」を集計したものをもとに疑問をもち、ごみ処理のしかたに着目した問いをもつことができる。(発言・ノート)	【思・判・表】 どこの町にも、ごみ出しのルールがあり、分別して収集されていることがわかる。(発言・ノート)	【知・理】 可燃ごみは、西濃環境保全センターへ運ばれ、環境に配慮された施設の中で処理されていることがわかる。(ノート)	◎【主】 西濃環境保全センターの見学に向けて、課題を積極的に考えることができる。(ノート)	◎【主】 西濃環境保全センターを見学し、意欲的にメモを取ったり、話を聞いたりすることができる。(見学態度・見学メモ)
用語		<ul style="list-style-type: none"> 「ごみの出し方の案内」 ゴミステーション 可燃ごみ 分別 	<ul style="list-style-type: none"> 西濃環境保全センター 可燃ごみ 溶融炉 メタル、スラグ 焼却灰 		

	6	7 (本時)	8	9	10	
ねらい	西濃環境保全センターでは、環境に配慮しながらたくさんの可燃ごみを処理していたことを確かめることができる。	ガラス瓶やペットボトル、空き缶などは、回収されると再び資源となることや、そのことがエネルギーやCO2などの削減につながることを理解することを通して、分別回収する意義を考察することができる。	ごみの処理方法の変化により公衆衛生が改善してきたことや、ごみ処理にかかる新たな課題について理解することができる。	ここまでの学習を活かし、地域社会の一員としてごみの処理に関わって自分たちにできることを考えることができる。	これまでに学んだことや、自分の考えたことを新聞にまとめることができる。	
指導過程	<p>1. 問題把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 前日の見学の感想を交流する。 <p>2. 課題</p> <p>見学で分かったことをまとめよう。</p> <p>3. 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 西濃地区だけでなく、瑞穂市や北方町からもごみを運んでいる。 燃やすのではなく、1200度の熱で一気に溶かす。 ゴミを溶かした後のガスをきれいにする装置の方がたくさんある。 煙突からは水蒸気しか出ていない。 ゴミの中に混じっている金属を集めて、スラグとメタルとものを新しく作り出している。 ゴミを燃やした後の熱を利用して、ゆーみんぐのプールの水を温めている。 <p>4. まとめ</p> <p>西濃環境保全センターでは、熱でゴミを溶かして処理している。そして、熱を活用したり排ガスをきれいにしたりして、環境のこともよく考えている。</p>	<p>1. 問題把握</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ゴミの出し案内」の注意事項を確認し、保護者のアンケート結果を提示する。 <p>2. 課題</p> <p>いろいろな面倒なことが多いのに、細かく分別して回収するのはなぜだろう。</p> <p>3. 個人追究</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取る。 実物資料に触れながら、仲間と交流する。 <p>4. 全体追求</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料から読み取ったことを交流する。 交流後、リサイクルはエネルギーやCO2の削減につながることを知らせる。 <p>5. まとめ</p> <p>分別回収をするのは、集めたもの材料として活かし、新しい物を作るためである。このことをリサイクルという。こうすることで、資源やエネルギーの節約にもなる。</p>	<p>1. 問題把握</p> <p>昔のごみ処理の絵を見て、気付いたことを交流する。</p> <p>2. 課題</p> <p>ごみ処理はどのように移り変わり、今、どのような課題があるのだろう。</p> <p>3. 全体交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料からわかったことを交流する。 家庭で聴き取ってきたことを交流する。 教科書を読み、新たな課題を知らせる。 処理がむずかしいごみが増えている。 外国人の人への対応が必要。 4Rの推進 <p>◇環境の4Rを確認する。</p> <p>4. まとめ</p> <p>ごみの量や種類が増えて、衛生的に分別しながら回収されるようになってきたが、新しいごみも増えてきている。ごみを減らすために、4Rに取り組むとよい。</p>	<p>1.問題把握</p> <p>教科書をもとに、ごみ減量のために店が取り組んでいることを知る。</p> <p>2.課題</p> <p>ごみをへらすために、自分たちにできることを考えよう</p> <p>3.グループ交流をしながら実際に取り組んでいることを確認したり、これからできることを考えたりする。</p> <p>4 全体交流</p> <p>考えたことを交流し合う。SDZsについても知らせる。</p> <p>5. まとめ</p> <p>ごみを少しでも減らすためには、家庭、学校、お店、地域の人など、それぞれが協力してできることを実行することが大切である。</p>	<p>1.これまでの学習で特に心に残っていることを交流する。</p> <p>2.課題</p> <p>学習で心に残ったことを中心に、新聞を書こう</p> <p>3.各自で、新聞を作る。</p> <p>4.出来上がったものを交流する。</p>	
	【思・判・表】 ごみの処理段階だけでなく、環境のために配慮していることにもふれて感想を書くことができています。 (発言・ノート)	【思・判・表】 「リサイクル」「資源やエネルギーの節約」というキーワードを入れて分別する意義について考えている。 (発言・ノート)	【思・判・表】 ごみ収集の移り変わりだけでなく社会の変化に対応して、ごみ処理にも新しい課題があることに触れている。(発言・ノート)	【思・判・表】 ごみの減量のためには、仕組みを整えるだけでなく、人々の協力が必要なことや、自分ができることについて考えている。 (発言・ノート)		
用語		リサイクル エネルギー・資源の節約	4R (リユース・リデュース・リサイクル・リフューズ)	SDG s		